

教育センター学びの丘長期研修員研修における学びについて

田辺市立会津小学校

教諭 西川 朋美

「教育センター学びの丘長期研修員の概要について」に示した研修の概要を基に、一年間の学びについての所感を述べる。

修養では、研修講座や研修員研修を通してこれまでの実践を振り返ることで、自身の課題を明確にすることができた。授業実践力向上トレーニングでは、教科の枠を超えて教材分析や教材研究についての様々な知識や技術を得ることができ、授業改善のための様々な視点について学ぶことができた。マネジメント力向上トレーニングでは、学級経営、さらには学校経営全般に関して学んだ。また、ミドルリーダーとして学校運営に関わるだけではなく、若手教員への助言などを行うことも期待されることから、教員としての専門性だけでなく、幅広く教養を高めるために日々学び続けることが大切であると実感した。

研究では、これまでの実践の省察から、算数科において指導者が児童に既習事項の活用を意識させること、その過程で働かせる「数学的な見方・考え方」について明確にすることに課題があると考え、授業改善の方向性を定め、その具体化を図った。研究を通し、自身の授業の省察と改善を繰り返していくことが、授業力の向上につながっていくのだと実感した。同時に、児童に問題解決の過程を再度振り返らせたり、よりよい解決方法を吟味させたりする場の設定など、新たな課題も明らかになった。研究で学んだことを所属校等へ還元していくと共に、今後も引き続き自身の授業力向上に努めたい。